龍田川　　　　　　　　　　　　山本　祐司

【本文】千早（ちはや）ぶる　神代（かみよ）もきかず　龍田川

からくれなゐに　水くくるとは

【現代語訳】さまざまな不思議なことが起こっていたという神代の昔でさえも、こんなことは聞いたことがない。龍田川が（一面に紅葉が浮いて）紅色に、水をしぼり染めにしているとは。

【コメント】古今和歌集の在原業平の和歌です。在原業平は、伊勢物語の主人公で、知立の「かきつばた」の和歌で有名です。

紅葉に染まる龍田川をイメージして、鮮やかな朱色の紙に書いてみました。